

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	一般国道54号 <small>かべ</small> 可部バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：広島県広島市安佐北区 <small>かべみなみ</small> 可部南一丁目 至：広島県広島市安佐北区 <small>おおはやしちょう</small> 大林町	延長	9.7 km		
事業概要					
<p>一般国道54号は、<small>ひろしま</small> 広島県 <small>ひろしま</small> 広島市から <small>しまね</small> 島根県 <small>まつえ</small> 松江市までを結ぶ延長約170kmの主要幹線道路である。</p> <p><small>かべ</small> 可部バイパスは、<small>ひろしま</small> 広島県 <small>ひろしま</small> 広島市安佐北区 <small>かべみなみ</small> 可部南一丁目と <small>ひろしま</small> 広島市安佐北区 <small>おおはやしちょう</small> 大林町を結ぶ延長9.7kmの道路である。</p> <p>事業目的は、<small>ひろしま</small> 広島市 <small>かべ</small> 可部周辺の慢性的な交通混雑の緩和、安全・円滑な交通の確保を図るものである。</p>					
S56年度事業化		S56年度都市計画決定		S58年度用地着手	
H2年度工事着手					
全体事業費	約736億円	事業進捗率 (R4年3月末時点)	86%	供用済延長	8.2 km
計画交通量	14,600～42,500台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (3便益) (事業全体) 1.5 (残事業) 1.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 111 / 1,587 億円 〔事業費：76/1,471億円〕 〔維持管理費：36/116億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 145 / 2,438億円 〔走行時間短縮便益：140/2,236億円〕 〔走行費用減少便益：1.9/180億円〕 〔交通事故減少便益：2.6/22億円〕	基準年 令和4年	
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.4～1.7(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.1～1.5(交通量±10%) 事業費：B/C=1.5～1.5(事業費±10%) 事業費：B/C=1.2～1.4(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.5～1.6(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.2～1.4(事業期間±20%)</p>				
事業の効果等					
<p>① 円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 渋滞損失時間の削減が期待される【7,686.1万人・時間/年→7,351.1万人・時間/年】 ・ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される <p>② 物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沿線物流センター（広島市安佐北区）から広島湾岸部の取引先（広島市南区）までのアクセスが向上【下浜ヶ谷交差点～楠那町交差点：88分→72分】 <p>③ 国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常活動圏の安芸高田市から中心都市の広島市への所要時間が短縮【安芸高田市～広島市：103分→87分】 <p>④ 個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市安佐動物公園（R2年間観光入込客数33万人）、土師ダム（R2年間観光入込客数10万人）へのアクセスが向上 <p>⑤ 安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三次救急医療機関（広島市立北部医療センター安佐市民病院）へのアクセスが向上【安芸高田消防本部～安佐市民病院：55分→39分】 <p>⑥ 災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県の地域防災計画における第1次緊急輸送道路として機能する <p>⑦ 地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CO2排出量について、約10.4千トン/年の削減が期待される <p>⑧ 生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NOx排出量について、約22.9トン/年の削減が期待される ・ SPM排出量について、約1.4トン/年の削減が期待される 					

関係する地方公共団体等の意見

広島市長の意見：

一般国道 54 号可部バイパスの事業再評価に係る対応方針（原案）については異存ありません。可部バイパスは、広島広域都市圏の連携強化に欠かせない道路であるとともに、交通混雑の緩和や災害に強い道路ネットワークの形成、安芸高田市方面から本年 5 月に開業した広島市立北部医療センター安佐市民病院へのアクセスが向上するなど、更なる都市圏の活性化に資するものであることから、早期完成に向けて、引き続き着実な事業展開が図られるようお願いいたします。特に、上根バイパスとの接続区間である大林地区の事業は、一般国道 183 号と交差する下浜ヶ谷交差点における交通混雑が解消されるとともに、並行する河川の氾濫など災害への脆弱性に課題のある現道区間を避けることができるようになることから、この区間の早期完成をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

- ・事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。
- ・審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

広島市北部地域は、宅地化が進み、人口増加による通勤・通学交通の増加や広島都心部への交通等により、慢性的な交通混雑や交通事故が発生している。

また、可部バイパス周辺では、平成 29 年 3 月に JR 可部線の延伸区間が開業し、令和 4 年 5 月に広島市立北部医療センター安佐市民病院が開院した。

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和 4 年 3 月末時点で、事業全体の進捗率は約 86%、用地の進捗率は約 96% である。現在までに広島市安佐北区可部南 1 丁目から大林ランプ間までの約 8.2km が暫定開通済み。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、暫定 2 車線開通後の残る課題に対し、早期に改善・緩和するよう事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

今後の事業実施にあたっては、コスト縮減を図りつつ事業を推進していく。

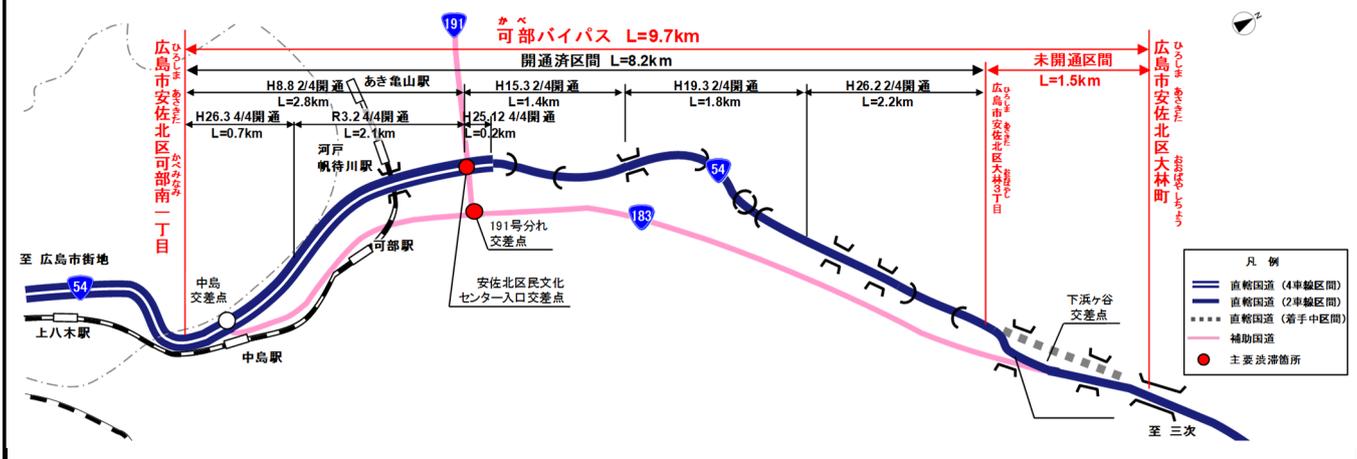
対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。